

中部方面混成団



MACB
QRコード
編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

Tel.077-523-0034

団射撃競技会

成績

● 部隊の部

優勝 第四陸曹教育隊

準優勝 第四十九普通科連隊

● 個人の部

第一位 三曹 西本 裕隆 (四十九連隊)

第二位 二曹 澤 賢太郎 (四十九連隊)

第三位 二曹 林 大地 (四十九連隊)

混成団(団長 佐藤 正典一陸佐)は、平成二十九年一月二十二日(日)あいば野基本射場(滋賀県高島市)において射撃競技会を実施した。

本競技会は、射撃技能の向上を促すとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図る目的で行われ、部隊の部及び個人の部によりそれぞれ競い合った。

選手たちは、厳しい寒さの中、部隊及び個人の名誉のため日頃の練成の成果を発揮した。

本競技会の結果については、下記のとおり。



選手宣誓 (4曹教)



団長訓示



準備線で点検を受ける選手



緊張の面持ちで射撃の順番を待つ選手



勤務員の操作を行う



弾薬受領



弾薬準備



射撃の様子



格闘練成



視察

中部方面総監方面
格闘集合教育視察
平成二十九年二月二十八日(火)、中部方面総監(鈴木陸将)による、方面格闘集合教育の視察を受けた。
本教育は、混成団が担任し、方面隊直轄の部隊(施設団を除く。)から三十二名の格闘指導官を目指す隊員が集まり、一月十三日から三月二日の間行われた。

全国混成団長会議



各混成団による活動状況等の発表



地点指示



4曹教の居室見学



各方面混成団長

混成団は、平成二十九年二月十六日（木）から十七日（金）の二日間、平成二十八年度全国混成団長会議を大津駐屯地で実施した。

この会議は年に一回行われ、今回の会議では、陸幕、幹部学校の参加を得て、各混成団が取り組んでいる活動状況を発表した後、二日目は、即応予備自衛官についての意見交換を実施し、最後に部外防災研修として、大阪府にある、津波高波ステーションを研修し全国混成団長会議を終了した。



津波高波ステーションの研修（大阪府西区）



取材車の支援



びわ湖毎日マラソンを支援する隊員



大型車両による役員・用具輸送支援

第七十二回びわ湖毎日マラソン支援

大津駐屯地は、平成二十九年三月五日（日）、滋賀県大津市で行われた、第七十二回びわ湖毎日マラソン大会を支援した。

今大会は、第十六回世界陸上競技選手権大会（二〇一七・ロンドン）代表選手選考を兼ねている重要な大会の一つ。駐屯地は、今年も、取材車、監察車、総務車、技術総務車の運行及び役員、資材の運搬等、人員二十五名、車両十四両をもって支援し、大会の円滑な運営に寄与した。

また、三月四日（土）毎日新聞朝刊（滋賀版）に「びわ湖毎日マラソン大会を支援する陸上自衛隊大津駐屯地の隊員たち」として掲載された。



平成28年度方面対向指揮所演習 金剛作戦を発動せよ!



第四十七普通科連隊

十四旅団の作戦に
大きく貢献する!



最終決戦に備える高山連隊



敵の状況を把握する
連隊本部要員



視察・激励をされる団長

連隊(連隊長 高山一陸佐)は、平成二十九年二月十二日(日)から二十四日(金)までの間、善通寺駐屯地及び指揮所訓練センター(兵庫県川西市)において中部方面隊が実施する平成二十八年度方面対向指揮所演習に参加し、連隊の指揮幕僚活動能力向上を図った。本指揮所演習は、方面総監の統制による第十三旅団と第十四旅団との対向方式で行われた。
本指揮所演習に先立ち、段階的にゲーム要員を練成するとともにCPXを積み重ね計画を策定し準備を完了した。二月二十一日に状況が開始され前進を開始した。戦況が激烈・熾烈を極める中、第十四旅団長柴田陸将補から主攻撃を命じられ、名誉と誇りを胸に、強大な敵と交戦し一進一退の攻防を繰り返した。
連隊は、旅団長の期待に応え、主動的に行動する中、二十三日状況終了となった。この間、混成団長に視察・激励を頂いた。
今演習を通じて得られた成果を更に進化させ指揮幕僚活動能力を向上させていく。



一発必中の信念で射撃に臨む隊員

加し、部隊及び個人の部において射撃競技を競った。射撃競技間、連隊を代表する百十五名の選手達は、これまでに最大限に射撃練習を最大限に発揮するとともに、連隊長要望事項「迷わずな」「ガク引きするな」「自信を持って撃て」を胸に「一発必中の信念で射撃、結果は準備されたもの」を八名の隊員が十発中八発を命中させ表彰式において上位三名が団長表彰を受けた。

団小火器射撃競技会に参戦!

射撃競技会は、戦闘員として必要な射撃速度の向上を図るとともに、部隊の団結強化及び隊員の士気高揚を図ることを目的として行われ、上級検定課目(九・十習会)で競技、団下の五コ部隊が参戦した。

個人成績 上位を独占



個人の部 [団長表彰受賞者3名]

我々549連隊

第四十九普通科連隊



諸職種部隊と連携し任務完遂

連隊は、平成二十八年十二月十七日から二十一日までの間、あいば野演習場(滋賀県高島市)で実施された、平成二十八年度中部方面隊統制総合戦闘射撃に参加した。本訓練は、増強普通科中隊内各級指揮官の射撃指揮、諸職種間の火力調整の二点を主要演習項目として実施され、諸職種部隊(戦車小隊、特科中隊、重迫撃砲小隊)を編組した増強普通科中隊(第一中隊及び第四中隊が実施)を基幹に、一連の防御戦闘状況下(第一状況)第六状況)での総合戦闘射撃要領を実弾射撃をもって演練した。

方面隊統制総合戦闘射撃



鋭い眼光で標的に照準する即自隊員

射撃には、第八次即応予備自衛官招集訓練で出頭した第一中隊、第四中隊、重迫撃砲中隊の即応予備自衛官八十四名も参加し、各種火器の連携要領・射撃速度の向上を図った。

祝 小火器射撃競技会優勝



隊は、平成二十九年一月二十日(日)、あいば野演習場基本射場において実施された、平成二十八年度団射撃競技会において、混成団隷下五個部隊が参加する中、優勝し堂々の二連覇を成し遂げた。

隊(隊長 井川二陸佐)は、一月より新たに陸曹候補生課程及び陸曹上級課程の教育を開始、昨年より引き続き教育を実施中である英語課程を併せて現在四ヶ月計三百九十八名の教育を実施中である。なお、昨年より教育を実施していた、最前任上級曹長集合教育二十一名の隊員が二月九日に教育を終了し原隊に帰隊した。

第四陸曹教育隊



平成二十八年度最後の課程教育開始



上曹中隊 小銃分隊の攻撃



普通科中隊 体力検定



共通中隊 武走障害走

第百八十七期陸曹上級課程では、一月二十五日小銃分隊の攻撃を実施、入校してまだ日も浅く課程教育で最初の戦術訓練の為、戸惑いながらも十分に訓練に励んでいた。

普通科教育中隊第百三十期一次陸曹候補生課程では、一月二十七日体力検定を実施、学生達は寒風吹きすさぶ中、半袖短パンで検定に挑み全員合格を目指した。

共通教育中隊第百三十期陸曹候補生課程では、二月二日雪が舞う中、武走障害走を実施した。学生達は風雪を吹き飛ばす熱気と気合で走り抜いた。

配置予定者・支援教官助教集合訓練 ～情熱と愛情をもって～

大隊(大隊長 佐伯二陸佐)は、平成二十九年二月二十七日から約三週間にわたり、平成二十八年度自衛官候補生及び一般陸曹候補生課程教育基幹要員集合訓練を実施した。今年度は、中方管内の各部隊から五十一名の隊員が参加し、春から開始される新入隊員教育に万全を期すため準備訓練を実施し、認識の統一を図った。訓練開始に伴い大隊長は「啐啄」「活模範たれ」を要望事項とし、基幹要員を激励した。来年度は約五〇〇名を越える若者達が、大津駐屯地の門を叩く予定である。大隊一同一致団結をして準備を進め、教育を実施していく。



訓練視察中の大隊長

新入隊員教育基幹要員集結

第一〇九教育大隊



基本教練指導法



歩哨訓練指導法



武器訓練指導法

第一一〇教育大隊



予備自衛官補等

招集訓練終了

大隊（大隊長 増田二陸佐）は、平成二十八年七月から平成二十八年度予備自衛官補招集教育訓練（延べ一七二名）及び予備自衛官（技能）招集訓練（延べ四十四名）を実施中のところ、平成二十九年二月六日をもって今年度の訓練を全て終了した。中四国を中心に近畿・東海からやる気に満ち溢れた隊員が出頭し訓練に励み、今年度においては八名の予備自衛官補の隊員が全ての訓練を修了し、三名が自衛官に、五名が予備自衛官として今後活躍する予定である。

平成二十九年年度 入隊予定者見学支援

大隊は、平成二十九年一月十七日に兵庫地本、二月七日に岡山・徳島地本、二十日に高知地本が実施する入隊予定者に対する部隊見学を支援した。

部隊見学には、合わせて六十一名の入隊予定者が参加し、大隊及び新隊員教育の概要説明を受け、営内居室等を見学した。入隊予定者は、真剣な眼差しで説明等を聞き「実際に生活する所を見ることができてとても勉強になった。」と入隊に対する決意を新たにしていた。



営内居室の見学（徳島地本）



修了証書の授与

中部方面混成団最先任上級曹長



平成二十八年十二月十二日付で第五代中部方面混成団最先任上級曹長に上番しました和田准尉です。歴代先輩方の伝統を継承しつつ自分のできる事を考え、混成団長を補佐し、准曹士の最上位者として恥ずかしくないよう努力する所存であります。

私の信条は「プロ意識」・「感謝」を掲げています。「プロ意識」は組織から必要とされ、結果を出すスポーツ選手と同じ様に、国民、部隊また隊員から信頼される自衛官でありたいです。「最先任に聞けば何でも分かる」と言われるように「プロ意識」を持ち続けたいと思います。「感謝」は私一人の力だけではこの地位を与えて頂くことはできませんでした。上司、同僚そして家族の協力があつたからだと思っています。関わって頂いた方々、これからお世話になる方々すべての方に「感謝」していきたいと思っています。

そして座右の銘は「力・必・達」これは「努めれば必ず達成できる」と読みます。これは高校の恩師の言葉で三十年以上、肝に銘じてきました。努力の無いところに結果は出ないという気持ちで、「プロ意識」・「感謝」を貫くため心に留めて参りました。皆さんに負けないよう頑張ります。

最後に、これから皆様にご迷惑をおかけする事が多々あると思いますがよろしくお願い申し上げます。簡単ではありますが、着任のご挨拶とさせていただきます。

任期付自衛官の紹介

昨年六月から混成団に任期付自衛官として勤務している光田士長を紹介いたします。

この制度は、自衛官として、一年以上勤務し、満五十三歳未満の者が退職時の階級で採用され勤務する制度です。

この制度を利用して、現在光田士長は、団本部広報室で勤務しています。主な勤務内容は、各種行事の写真撮影、ホームページの更新等です。

元自衛官としての知識と自衛隊以外の職場で得た経験を活かして、広報室の大きな力となっております。

☆出身地 岡山県

☆趣味 スポーツ全般

☆好きな食べ物 柿ピー

